

# 景況調査

報告書 NO. 20

平成15年 7月～9月 実績  
平成15年 10月～12月 見通し



蒲郡商工会議所  
中小企業相談所

## 平成15年度第2四半期(H15.7~9月)景況調査

1. 調査時点 平成15年10月

2. 調査対象

(1) 対象地区

蒲郡市内

(2) 対象(回答)企業

145[138企業、7団体 = 三河織物工業(協)、中部繊維ロープ工業(協)、蒲郡市上下水道工事(協)、蒲郡建設業(協)、三河繊維産元(協)、愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合蒲郡支部、蒲郡鉄工会]

3. 調査方法

聞き取り調査によるアンケート調査

4. 回答企業の内訳

| 業種 | 製造業    | 建設業    | 卸売業    | 小売業 | サービス業  | 運輸通信業 | 全業種     |
|----|--------|--------|--------|-----|--------|-------|---------|
| 合計 | 55 (3) | 13 (2) | 20 (1) | 32  | 14 (1) | 11    | 145 (7) |

( )は団体

5. 概況

**全業種総合判断DI値(当期実績)**は、**前年同期比**で見ると 23.4、前期4~6月・ 26.6)と比較すると3.2ポイントの上昇、**前期比**で見ると 14.4、前期(4~6月・ 27.8)に比較すると13.4ポイントの上昇、いずれも改善の傾向が見られた。また、**売上DI値**についても、前期比で見ると 12.4、前期(4~6月・ 31.4)と比較すると19.0ポイントの上昇、改善の傾向が見られた。**収益DI値**は 20.0、前期(4~6月・ 33.1)と比較すると13.1ポイントの上昇、改善の傾向が見られた。**総合判断来期(H15.10~12月)見通し**についても 8.9、前期4~6月・ 20.1)と比較すると11.2ポイントの上昇、改善の傾向が見られた。

「**製造業**」のうち**水産食料品**は、総じて悪化傾向にあり、スーパーやコンビニなど小売業者からの値下げ要請などによる利幅圧迫で、採算性は深刻な状況にある。**織物**は、多少、回復傾向であり、ジャカードカーテン、ドビーカーテンともに、仕事量は堅調で、また白生地織物、先染織物については、全般には仕事量・採算面は厳しいが、健闘している。**染色整理**は、収益の改善傾向もあり、インテリア関連で回復が見られた。**漁網・ロープ**のうち、繊維ロープは、定置網の免許更新期にあたり、需要は伸びたが、海外からの輸入量も増加している。漁網は、夏場は漁業の閑散期にあたり需要低調である。**鉄工**のうち、工作機械関係は、着実に回復傾向にあり、操業水準は改善しつつある。自動車関連は、小型低価格車の販売が伸び悩み少しマイナスであるが、部品加工メーカーは底堅く、加工賃は厳しい。**木材**は、法の改正で輸入メーカーの新JAS認定のおくれから輸入合板の減少により、国産品の需要が高まっている。「**建設業**」は、公共工事は削減ムードが強く、民間工事は、大型案件が少なく、受注競争も激しいが、少し改善の兆しも見える。「**卸売業**」のうち**繊維卸**は、産業資材関連・流通システムの変化と取り巻きの環境は益々悪くなるばかりである。寝装関連:相変わらず中国品が色濃く、国内品は、抗菌・マイクスイッチ等機能商品へ移行する傾向がある。インテリア関連:専門店向けオーダーカーテン(ブック帳販売品)商品、量販店向け及びホームセンター向け商品、テーブルクロス、車両用商品などそれぞれ巻き返しを計っている。衣料:年間を通じ最も苦しい時期に入っている。厚地の起毛で綿100%素材の「モルスキン」が好評である。「**小売業**」は、個人消費の低調により、客数の減少・客単価の下落などほとんどの個店では、売上が減少している。各商店街は、夏にイベントを中心市街地活性化事業(TMO)とタイアップし、蒲郡まつり・星空市・中央通り歩道完成イベントなど実施した。「**サービス業**」のうち**旅館**関係は、低温・多雨・日照不足・台風と、これほど天候に影響を受けた年は無い。さらにラグーナ蒲郡の入場者の減少影響もあり低調であった。「**運輸通信業**」のうち**貨物輸送**は、海運関連:蒲郡港の輸入量は微減である。陸運関連:宅配、小口貨物は中元商品、ネット商品等は増量だが夏物商品は、冷夏で低迷した。バス業界:前半は落ち込んでいたが後半持ち直してきた。乗合バスは、あじさい祭り、ラグーナの夏休み需要で好調であった。

**設備投資状況**は、一般的には低調だが、26事業所(37件)で設備投資が実施され、生産設備・OA機器・車両運搬具が上位にランクした。来期は30事業所(41件)が設備投資を計画されている。**経営上の問題点**では、売上の停滞・減少、利幅の縮小、競争激化が項目別・業種別で上位を占めていた。

**当地区においても**、依然としてデフレの長期化、雇用の停滞、個人消費の低調、設備投資の抑制、原油価格高騰による原材料価格の上昇、住宅着工数の低調、アメリカ経済の停滞、中国・アジア製品の輸入拡大、急激な円高等の影響により、業況判断DI(全業種全体)は、水面下であるが、少し改善の方向に推移している。集客力を誇る「ラグーナ蒲郡」を核とした活性化が有効であるとともに、今後「東港」の活用、「花博」・「万博」にいられたお客の当地への受け入れなど期待する。

**全業種(当期実績)**

(DI 単位:%)

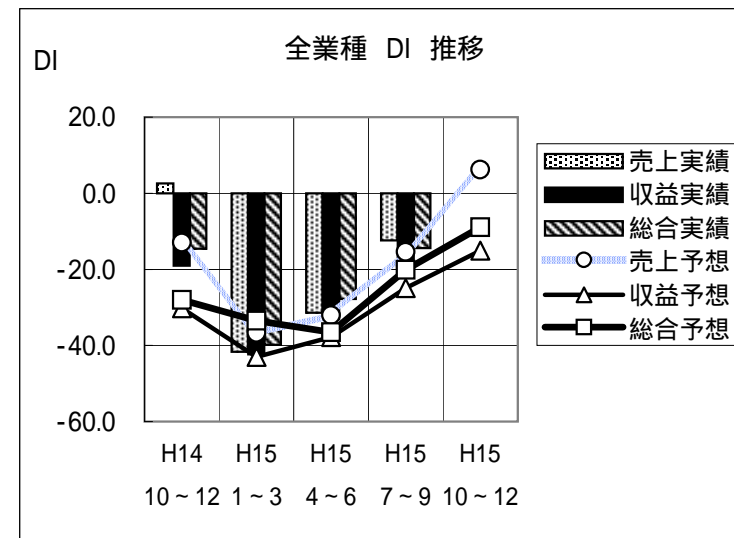
<全業種 各項目別期別推移>

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7~9月) | 前期比<br>(平成15年4~6月) | 来期見通し<br>(平成15年10~12月) | 売上           |       | 収益    |       | 総合判断  |       |       |       |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                |                      |                    |                        | 前年同期比        | 前期比   | 前年同期比 | 前期比   | 前年同期比 | 前期比   | 来期見通し |       |
| 生産額・売上額        | -25.5                | -12.4              | 6.2                    | H14. 7~9月実績  | -31.5 | -20.6 | -45.2 | -35.6 | -37.7 | -30.8 | -28.0 |
| 製品・商品在庫        | -9.7                 | -9.7               | -12.5                  | H14.10~12月実績 | -31.0 | 2.6   | -40.5 | -19.0 | -29.1 | -14.6 | -33.5 |
| 資金繰り           | -20.7                | -16.5              | -10.4                  | H15. 1~3月実績  | -33.9 | -41.7 | -42.3 | -42.3 | -40.4 | -39.8 | -36.5 |
| 採算(収益)         | -30.3                | -20.0              | -15.1                  | H15. 4~6月実績  | -37.3 | -31.4 | -34.9 | -33.1 | -26.6 | -27.8 | -20.1 |
| 従業員数(含む臨時・パート) | -0.6                 | 0.7                | 1.4                    | H15. 7~9月実績  | -25.5 | -12.4 | -30.3 | -20.0 | -23.4 | -14.4 | -8.9  |
| 貴社の業況(総合判断)    | -23.4                | -14.4              | -8.9                   |              |       |       |       |       |       |       |       |

[総合判断]

| 業種       | 前年同期比 | 前期比 | 見通し | 業種      | 前年同期比 | 前期比 | 見通し |
|----------|-------|-----|-----|---------|-------|-----|-----|
| 全業種      |       |     |     | 卸売業     |       |     |     |
| 製造業      |       |     |     | (繊維卸)   |       |     |     |
| (水産食料品)  |       |     |     | 小売業     |       |     |     |
| (織物)     |       |     |     | (飲食)    |       |     |     |
| (染色整理)   |       |     |     | (その他小売) |       |     |     |
| (漁網・ロープ) |       |     |     | サービス業   |       |     |     |
| (鉄工)     |       |     |     | (旅館)    |       |     |     |
| (木材木製品)  |       |     |     | 運輸通信業   |       |     |     |
| 建設業      |       |     |     | (貨物輸送)  |       |     |     |



<業況判断DIの推移>

|    | H14.10~12月 | H15.1~3月 | 4~6月  | 7~9月  | 10~12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | 2.6        | -41.7    | -31.4 | -12.4 | 6.2       |
| 収益 | -19.0      | -42.3    | -33.1 | -20.0 | -15.1     |
| 総合 | -14.6      | -39.8    | -27.8 | -14.4 | -8.9      |

DI (ディフュージョン・インデックス 業況判断指数) について  
 DIは景気が上向きか、下向きかを表す指数である。

DI(%) = 増加・良好などの割合 - 減少・悪化などの割合

(注) 生産額・売上額 : DI = (増加) - (減少)  
 製品・商品在庫 : DI = (減少) - (増加)  
 資金繰り : DI = (好転) - (悪化)

採算(収益) : DI = (上昇) - (下降)  
 従業員数 : DI = (不足) - (過剰)  
 業況(総合判断) : DI = (好転) - (悪化)

DIが0より大 → 景気上向き  
 DIが0 → 景気横ばい  
 DIが0より小 → 景気下向き

(総合判断のDIの目安)

DI 50%以上 DI 6 ~ 49% DI 5 ~ -5%

DI -6 ~ -49% DI -50%以下

## 6. 業種別報告

### 製造業

売上DI値は 1.8、前期実績4～6月期( 25.5)に比して23.7ポイントの上昇。収益DI値は 16.4、前期実績4～6月期( 30.5)に比して14.1ポイントの上昇、総合判断DI値は 14.5、前期実績4～6月期( 32.2)に比して17.7ポイントの上昇、いずれも改善傾向であった。見通しとしては、いずれも改善の見通しである。

### 製造業

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -5.5                 | -1.8               | -1.8                   |
| 製品・商品在庫        | -3.6                 | -7.2               | -12.7                  |
| 資金繰り           | -29.1                | -18.2              | -10.9                  |
| 採算(収益)         | -27.3                | -16.4              | -18.2                  |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 3.6                  | 3.6                | 3.6                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | -21.8                | -14.5              | -14.5                  |

### [水産食料品]

売上は前年同期比DI値 62.5。消費低迷により依然として売上不振が続く。前期比ではDI値 25.0と悪化傾向。収益は前年同期比DI値 62.5、前期比ではDI値 62.5と悪化傾向。スーパー・コンビニ等小売業者からの値下げ要請などによる利幅圧迫で、採算性は特に深刻な状況にある。総合判断は前年同期比DI値 50.0、前期比ではDI値 50.0。一部には生産性向上により業況が好転している企業も見られるが、総じて悪化傾向にある。

向こう3ヶ月の見通し

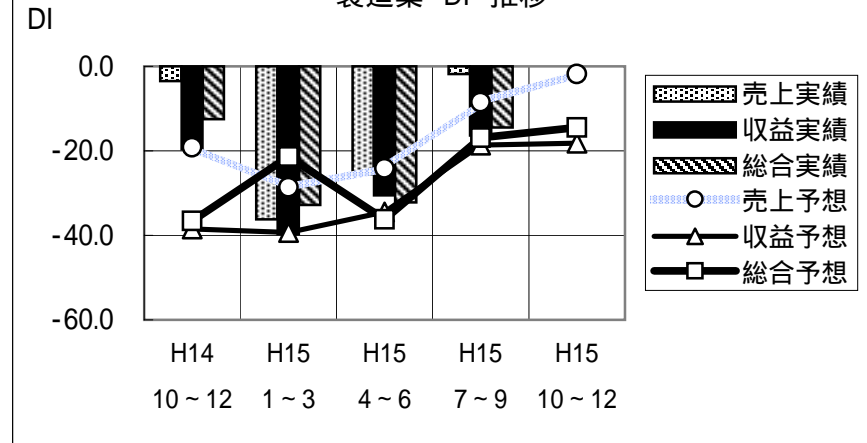
売上はDI値25.0、収益はDI値 25.0、総合判断ではDI値 37.5。年末年始の需要期に入るため、今期に比べ売上は増加の見通しだが、総じて業況は悪化の見込み。食の安全性への対応、グローバル化への対応など食品業界の課題は多く、経営環境は厳しさを増している。(食品部会)

### (水産食料品)

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -62.5                | -25.0              | 25.0                   |
| 製品・商品在庫        | 12.5                 | 12.5               | 25.0                   |
| 資金繰り           | -37.5                | -37.5              | -25.0                  |
| 採算(収益)         | -62.5                | -62.5              | -25.0                  |
| 従業員数(含む臨時・パート) | -25.0                | -25.0              | 0.0                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | -50.0                | -50.0              | -37.5                  |

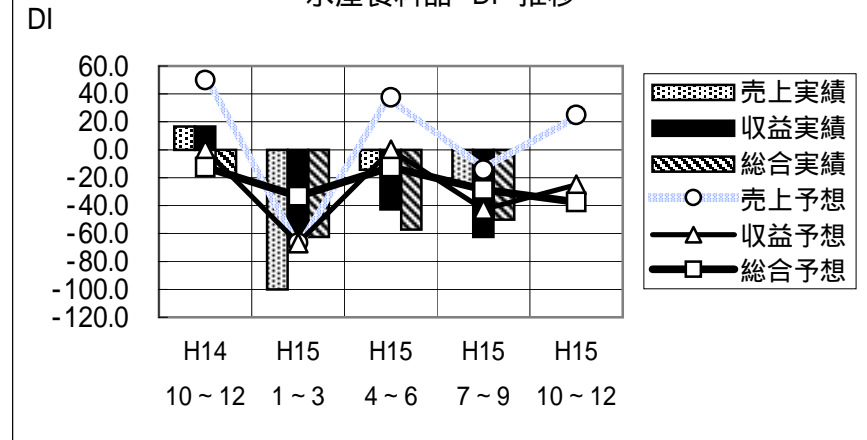
### 製造業 DI 推移



### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | -3.5       | -36.2    | -25.5 | -1.8  | -1.8      |
| 収益 | -19.6      | -39.7    | -30.5 | -16.4 | -18.2     |
| 総合 | -12.5      | -32.8    | -32.2 | -14.5 | -14.5     |

### 水産食料品 DI 推移



### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | 16.7       | -100.0   | -14.3 | -25.0 | 25.0      |
| 収益 | 16.6       | -62.5    | -42.8 | -62.5 | -25.0     |
| 総合 | -16.7      | -62.5    | -57.1 | -50.0 | -37.5     |

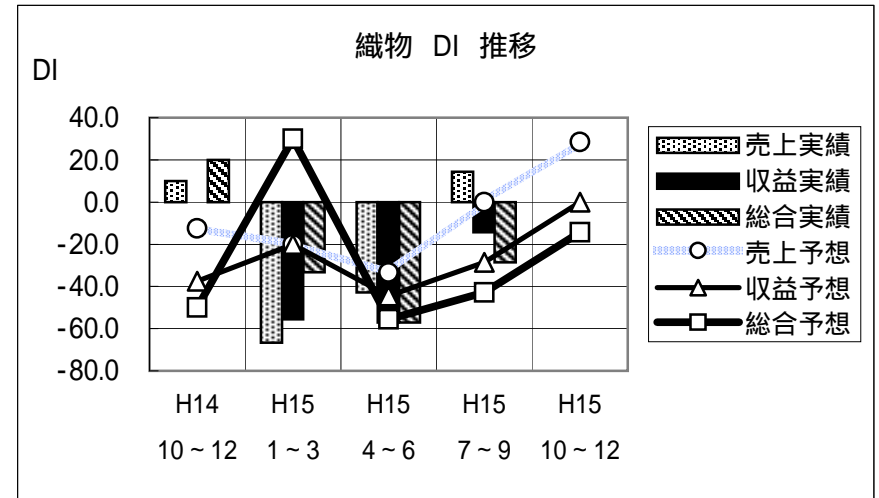
**[織物]**

主力商品であるジャカードカーテンについては、全体に仕事量は少なく、稼働率は50%前後である。ドビーカーテンについても、仕事量は少ない状況である。白生地織物は、広幅についても期近物中心に仕事量は出ているが稼働率は80%前後である。並幅については、仕事量の減少傾向が続いている。先染織物は、仕事量が少ないうえに加え、殆んど全てが少ロット物である。しかし、何れも採算面は厳しい状況が続いており、期近発注による短納期化・少ロット化が進み、稼働率は悪くなっている。総合的には、水面下であるが改善傾向にある。今後の見通し、ジャカードカーテンは、仕事量は多少回復し、稼働率60%程度になるとと思われる。ドビーカーテンも、仕事量は多少回復する見込みである。白生地織物は、仕事量の増加は見込みみずで、今期の横ばいであれば上々と思われる。先染織物は、春夏物が主流であり仕事量の増加は期待しているが、現状と同じ状況が続くと思われる。採算面で厳しい状況が続いている中で、円高が進行しこのまま推移すれば、輸入が増加工賃への圧迫が懸念されている。総体的に、長期にわたる業況不振の影響で資金繰りは悪化しており、運転資金の新規借入れも難しい状況が続く。しかし、一方、企業淘汰も進み、季節的要因もあり、改善傾向にある。(繊維部会)

**(織物)**

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7~9月) | 前期比<br>(平成15年4~6月) | 来期見通し<br>(平成15年10~12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | 0.0                  | 14.3               | 28.5                   |
| 製品・商品在庫        | -14.3                | -14.3              | -28.6                  |
| 資金繰り           | -57.1                | -28.6              | -14.3                  |
| 採算(収益)         | -42.9                | -14.3              | 0.0                    |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | -57.1                | -28.6              | -14.3                  |



<業況判断DIの推移>

|    | H14.10~12月 | H15.1~3月 | 4~6月  | 7~9月  | 10~12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | 10.0       | -66.7    | -42.8 | 14.3  | 28.5      |
| 収益 | 0.0        | -55.6    | -57.1 | -14.3 | 0.0       |
| 総合 | 20.0       | -33.3    | -57.1 | -28.6 | -14.3     |

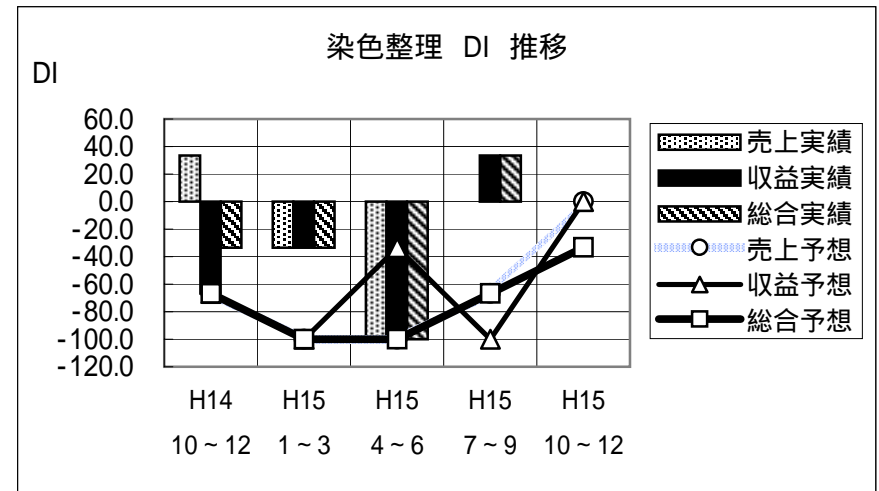
**[染色整理]**

消費指向の多様化・個性化等にもない、少ロット・短サイクル・短納期の傾向はさらに進み、生産効率の低下に加え、繊維製品輸入の増大等の影響を受け、当業界の総受注加工量は全般的に停滞している。しかし、季節的要因もあるが、収益の改善傾向もあり、インテリア関連で回復が見られた。今後の見通しについても、依然として低加工賃が続くものと見られ、採算性の低い水面下の厳しい状況が予想される。(繊維部会)

**(染色整理)**

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7~9月) | 前期比<br>(平成15年4~6月) | 来期見通し<br>(平成15年10~12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 製品・商品在庫        | 33.3                 | 0.0                | 0.0                    |
| 資金繰り           | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 採算(収益)         | 0.0                  | 33.4               | 0.0                    |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 0.0                  | 0.0                | -33.3                  |
| 貴社の業況(総合判断)    | 0.0                  | 33.4               | -33.3                  |



<業況判断DIの推移>

|    | H14.10~12月 | H15.1~3月 | 4~6月   | 7~9月 | 10~12月見通し |
|----|------------|----------|--------|------|-----------|
| 売上 | 33.4       | -33.4    | -100.0 | 0.0  | 0.0       |
| 収益 | -66.7      | -33.4    | -100.0 | 33.4 | 0.0       |
| 総合 | -33.4      | -33.4    | -100.0 | 33.4 | -33.3     |

## [漁網・ロ-フ]

繊維ロープ: 定置網の免許更新期にあたり、総体的に需要は伸びたものの、比例して輸入物も昨年比20%程度増加し、当産地の出荷量は、概ね横ばいに推移した。繊維ロープ業界は、従業員数が長期的に暫減しており、こうした要因により工場稼働率は、上昇傾向を示している。

( 出荷量 前年比99.1%、輸入量 前年比121% )

漁網: 夏場は漁業の閑散期にあたり、需要は低調である。加えて安全ネットなど陸上部門も厳しさが続いている。

( 繊維ロープ部会 )

## (漁網・ロ-フ)

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7~9月) | 前期比<br>(平成15年4~6月) | 来期見通し<br>(平成15年10~12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | 0.0                  | 30.0               | -30.0                  |
| 製品・商品在庫        | -20.0                | -10.0              | -30.0                  |
| 資金繰り           | -30.0                | 0.0                | -10.0                  |
| 採算(収益)         | -20.0                | 0.0                | -40.0                  |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | -20.0                | -10.0              | -10.0                  |

## [鉄工]

工作機械関係: 設備投資の「先行指標」である工作機械メーカーは、着実に回復傾向にある。8月までの受注額は、国内外とも11ヶ月連続で前年実績を上回った。中国など輸出向けに支えられており、自動車・建設機械向けが堅調である。部品加工業者は、工賃は低目のままであるが、操業水準は改善しつつある。

自動車部品関係: 自動車販売は、スモールカーが伸び悩みのため小幅のマイナスである。部品メーカーは、高目を持続しているが、値下げ圧力が強く、収益力については厳しい。

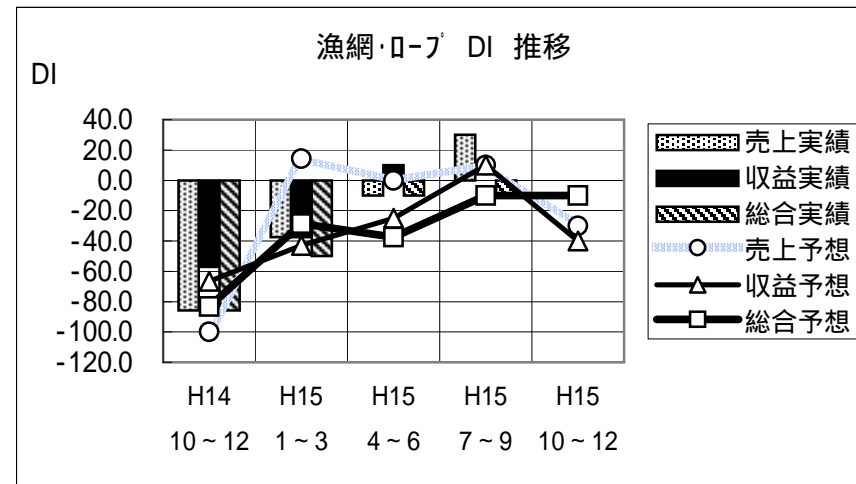
当商工会議所は、昨年よりISO9001協同取得を支援してきたが、このたび自動車関連4社の認証取得ができた。

向こう3ヶ月の見通しは、液晶などIT関連は回復傾向にあり、中国関連、新車・モデルチェンジなどで発注の期待があるが、単価の兼ね合いもある。(金属鉄工部会)

## (鉄工) (一般機械器具・輸送用機械・精密機械)

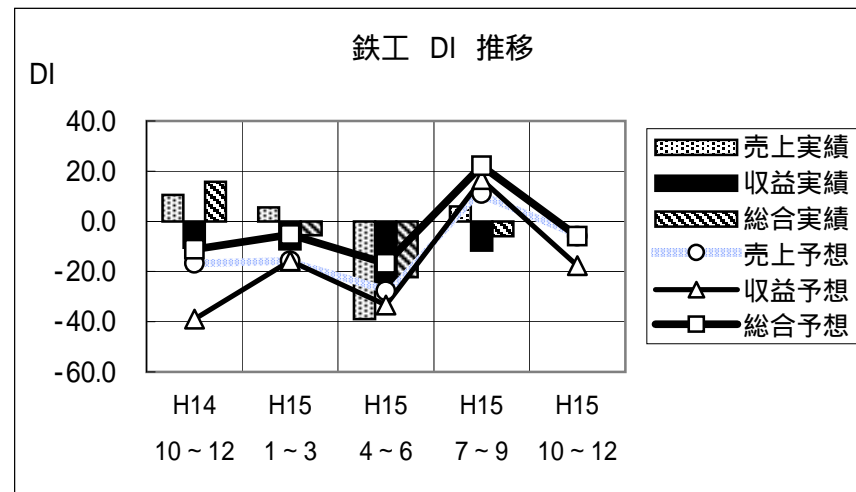
(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7~9月) | 前期比<br>(平成15年4~6月) | 来期見通し<br>(平成15年10~12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | 0.0                  | 5.9                | -5.9                   |
| 製品・商品在庫        | 5.8                  | -5.8               | -11.8                  |
| 資金繰り           | -29.4                | -17.6              | -5.9                   |
| 採算(収益)         | -11.7                | -11.7              | -17.6                  |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 17.6                 | 17.6               | 11.7                   |
| 貴社の業況(総合判断)    | 0.0                  | -5.9               | -5.9                   |



### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10~12月 | H15.1~3月 | 4~6月  | 7~9月  | 10~12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | -85.7      | -37.5    | -10.0 | 30.0  | -30.0     |
| 収益 | -57.1      | -37.5    | 10.0  | 0.0   | -40.0     |
| 総合 | -85.7      | -50.0    | -10.0 | -10.0 | -10.0     |



### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10~12月 | H15.1~3月 | 4~6月  | 7~9月  | 10~12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | 10.5       | 5.6      | -38.9 | 5.9   | -5.9      |
| 収益 | -10.5      | -11.1    | -27.8 | -11.7 | -17.6     |
| 総合 | 15.8       | -5.5     | -22.2 | -5.9  | -5.9      |



## [木材木製品]

住宅着工は、住宅減税の期限切れなどを背景として回復の兆しが窺え、7月度は98,718戸（前年同月比+1.4%）と2ヶ月連続の前年比プラスとなっている。合板業界はシックハウス対策や改正建築基準法への対応で、海外メーカーの新JAS認定の遅れから、輸入合板の減少により、国産品の需要が高まり、針葉樹合板を中心に強含みで推移している。また構造用集成材も、流通在庫の減少、輸入品の価格上昇もあり堅調に推移している。

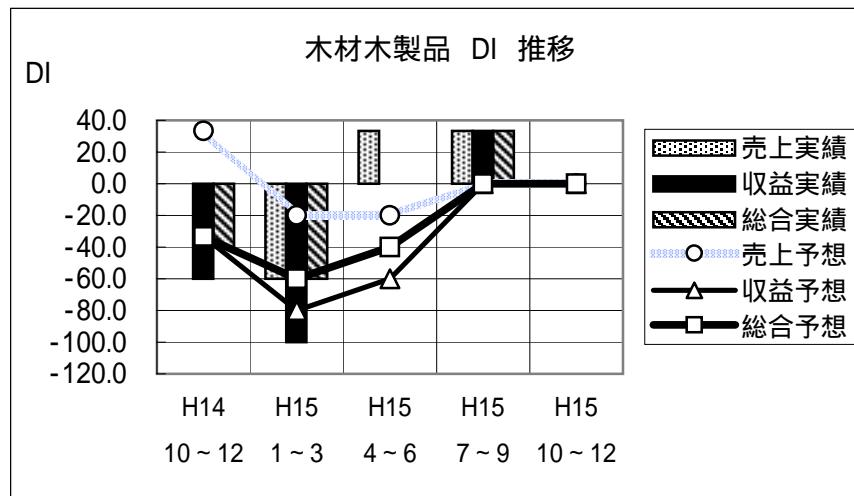
向こう3ヶ月の見通しは、

海外メーカーの新JAS認定の遅れも徐々に解消し、10月以降、輸入品の流入が活発化すると予想されるため、市場への供給過大および価格の下落が懸念される。製材品は、米国、カナダにおいては住宅着工が絶好調で需要旺盛に加え、供給面での森林火災で丸太の供給低下が価格高騰を招いており、対日輸出の抑制で国内市況は堅調推移が予想される。（建設部会）

### (木材木製品)

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | 66.7                 | 33.3               | 0.0                    |
| 製品・商品在庫        | -33.3                | 0.0                | 0.0                    |
| 資金繰り           | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 採算(収益)         | -33.3                | 33.3               | 0.0                    |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 33.3                 | 33.3               | 33.3                   |
| 貴社の業況(総合判断)    | -33.3                | 33.3               | 0.0                    |



#### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|------|------|-----------|
| 売上 | 0.0        | -60.0    | 33.3 | 33.3 | 0.0       |
| 収益 | -60.0      | -100.0   | 0.0  | 33.3 | 0.0       |
| 総合 | -40.0      | -60.0    | 0.0  | 33.3 | 0.0       |

## 建設業

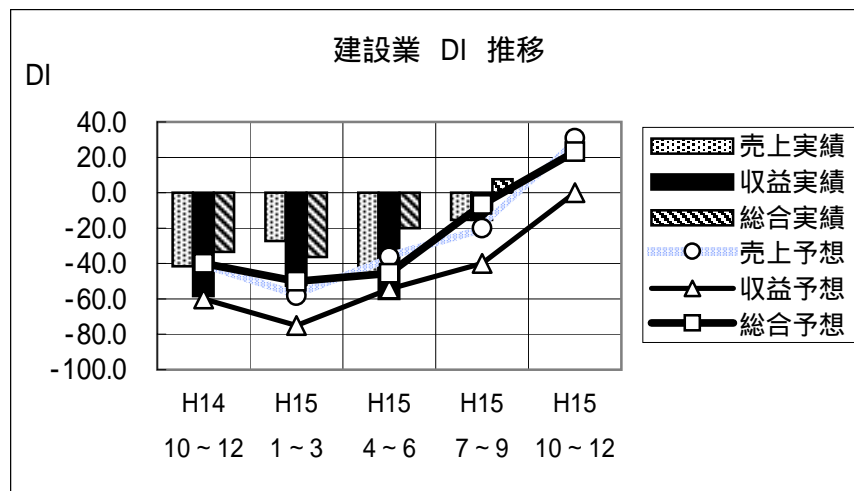
売上DI値は 15.4、前期実績4～6月期( 46.7)に比して31.3ポイントの上昇、収益DI値は 15.4、前期実績4～6月期( 60.0)に比して44.6ポイントの上昇、総合判断DI値は7.7、前期実績4～6月期( 20.0)に比して27.7ポイントの上昇、いずれも改善傾向である。見通しとしては、いずれも改善傾向にあると思われる。

発注が少ない中、競争が激しく、請負価格は低めに抑えられており、引き続き低調のまま推移している。公共工事は、総じて支出削減ムードを反映して落ち込みが大きい。民間工事は、大型工事が少なく、需要が弱く、改善感を欠く状況が続いている。しかし、企業間格差もあり、良いところも出て来ている。向こう3ヶ月の見通しは、景況の好転の兆しは無く、先行き不透明感も強く依然として厳しい状況が続くが、改善の兆しもうかがえる。（建設部会）

### 建設業

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -23.1                | -15.4              | 30.8                   |
| 製品・商品在庫        | -15.4                | -15.4              | -15.4                  |
| 資金繰り           | -15.4                | -30.8              | 0.0                    |
| 採算(収益)         | -30.8                | -15.4              | 0.0                    |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | -7.7                 | 7.7                | 23.1                   |



#### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | -41.6      | -27.3    | -46.7 | -15.4 | 30.8      |
| 収益 | -58.4      | -54.5    | -60.0 | -15.4 | 0.0       |
| 総合 | -33.4      | -36.4    | -20.0 | 7.7   | 23.1      |

## 卸売業

売上DI値は5.0、前期実績4～6月期(28.0)に比して33.0ポイントの上昇。収益DI値は0.0、前期実績4～6月期(16.0)に比して16.0ポイントの上昇、総合判断DI値は5.0、前期実績4～6月期(24.0)に比して19.0ポイントの上昇と、いずれも改善傾向が見られた。見通しとしては、いずれも水面上の改善の見通しである。

### 卸売業

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -30.0                | 5.0                | 40.0                   |
| 製品・商品在庫        | -30.0                | -20.0              | -20.0                  |
| 資金繰り           | -5.0                 | -10.0              | -10.0                  |
| 採算(収益)         | 0.0                  | 0.0                | 10.0                   |
| 従業員数(含む臨時・パート) | -15.0                | -15.0              | -15.0                  |
| 貴社の業況(総合判断)    | -10.0                | -5.0               | 15.0                   |

### [繊維卸]

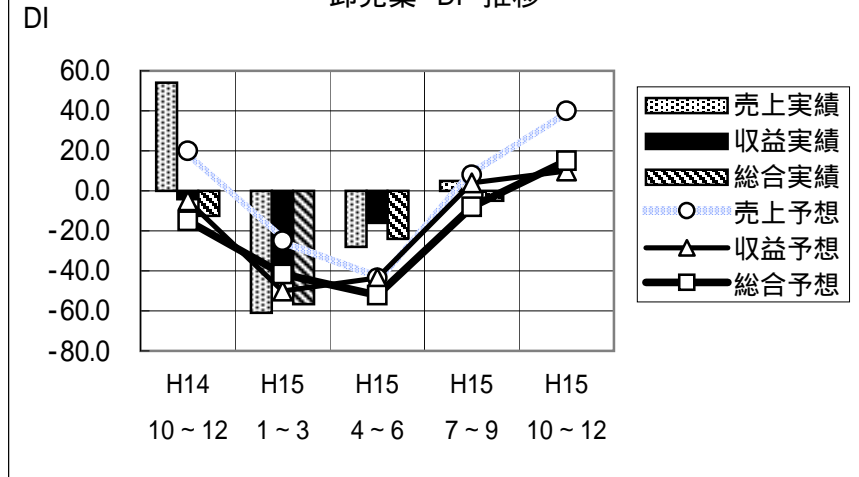
産業資材関連:流通システムの変化と取り巻きの環境は悪くなるばかりで、製品安による価格ダウン、益々厳しさを増すばかりである。こういう情勢の中で一部の商品に変化も出てきた。海外生産より国内生産への生産拠点の変更、安い(粗悪品)=大量生産が飽きられる傾向も一部出てきている。またジャストインタイム(必要な時に必要な量)の要求も受けている。寝装関連:定番・非定番品は勿論相変わらず中国品が色濃く、国内品は抗菌・マイクスイオン等付加価値を有した特殊商品へ移行する傾向がある。ただこれは量的な期待感は薄い。インテリア関連:専門店向けオーダーカーテン(ブック帳販売品)商品は、秋冬物の生地仕込みと新見本帳の発売やリフォーム市場、ハウジング物件を目当てに生産面では多少の上向きが出ている。この分野では新機能を付加した商品を充実させ(防災・抗菌・ウオッシュブル・消臭・遮光・リサイクル・マイクスイオン)効果等で巻き返しを計っている。量販店向け及びホームセンター向け商品は、相変わらず低価格商品に押され、需要の落ち込みも大きく減少しているがトータルインテリア向け中心である。テーブルクロスは、中国品の台頭があり苦戦したが、秋のブライトシーズン用の仕込みやオリジナル商品で巻き返しをはかっており、少ロットであるが持ち直しの動きである。車両は、ニット主体で、この産地の織物は一部を除き苦戦している。全体に後染め、北陸産地のプリント生地の傾向から先染め商品の傾向にあり、これから秋冬の需要期に入り、回復傾向である。衣料関連:年間を通じ最も苦しい時期に入っている。起毛商品を中心とした秋冬物商品の繁忙期にあたっているが、過去得意とされていたが、産地自身の関わりも極端に減少していると思われる。しかし、厚地の起毛商品で綿100%のモールスキンと呼ばれる商品が、生地生産段階においては、よく売れているとの情報もある。(繊維部会)

### (繊維卸)

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -23.6                | 11.8               | 41.1                   |
| 製品・商品在庫        | -35.3                | -23.6              | -23.5                  |
| 資金繰り           | -5.9                 | -5.9               | -5.9                   |
| 採算(収益)         | 0.0                  | 5.9                | 17.7                   |
| 従業員数(含む臨時・パート) | -11.7                | -11.7              | -11.7                  |
| 貴社の業況(総合判断)    | -11.8                | 0.0                | 17.6                   |

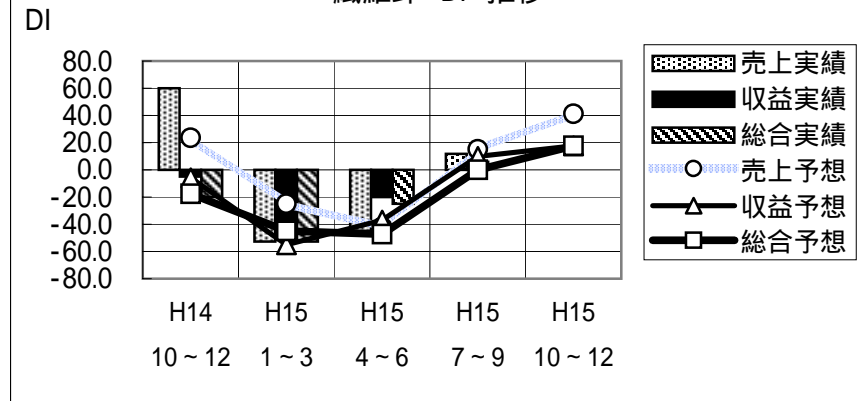
### 卸売業 DI 推移



### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月 | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|------|-----------|
| 売上 | 54.1       | -60.9    | -28.0 | 5.0  | 40.0      |
| 収益 | -4.2       | -39.1    | -16.0 | 0.0  | 10.0      |
| 総合 | -12.5      | -56.6    | -24.0 | -5.0 | 15.0      |

### 繊維卸 DI 推移



### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月 | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|------|-----------|
| 売上 | 60.0       | -52.7    | -45.0 | 11.8 | 41.1      |
| 収益 | -5.0       | -36.8    | -20.0 | 5.9  | 17.7      |
| 総合 | -20.0      | -52.6    | -25.0 | 0.0  | 17.6      |



## 小売業

売上DI値は 37.5、前期実績4～6月期( 48.8)に比して11.3ポイントの上昇。収益DI値は 43.7、前期実績4～6月期( 43.9)に比して0.2ポイントの上昇、総合判断DI値は 37.5、前期実績4～6月期( 31.7)に比して5.8ポイントの下降と、売上と収益では改善傾向であった。見通しとしては、いずれも横ばい傾向である。

長引く不況から個人消費は低調に推移し、客数の減少や客単価の下落など殆どどの個店では売上が減少している。7月下旬には蒲郡まつり・竹島ふれあい星空市を、8月下旬には中央通り歩道完成イベントを実施し、大盛況に終了した。一方で、イベントを開催しても人出はあるが、売上にはつながらない等取り巻く環境は厳しい。

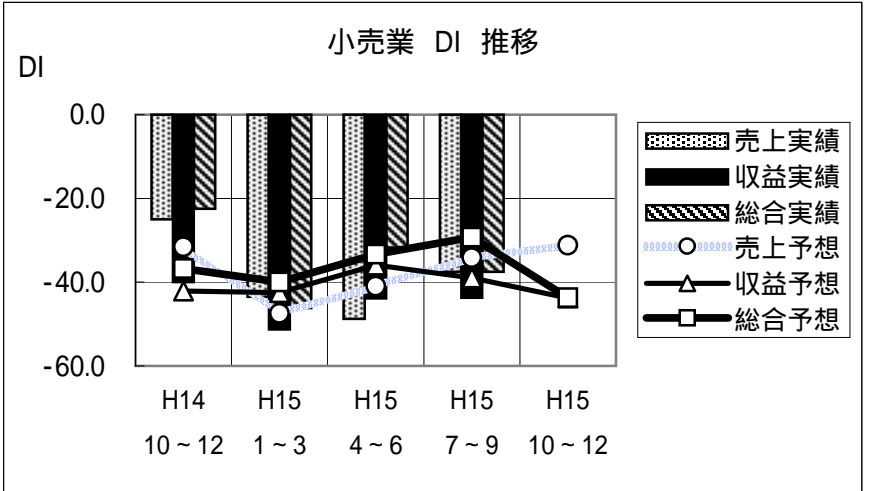
向こう3ヶ月の見通し

10月1日より1ヶ月間 “第48回がまごおり商業まつり” を開催、各商店街で大売出しや抽選会を実施する。また “がまんぷらりー(商店街スタンプラリー)” を239店参加により開催。参加店にて買物するとスタンプを押してもらえ、スタンプの個数に応じて抽選で商品があたる。(商業部会)

## 小売業

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -62.5                | -37.5              | -31.2                  |
| 製品・商品在庫        | -6.3                 | -6.3               | -9.4                   |
| 資金繰り           | -31.3                | -18.8              | -25.0                  |
| 採算(収益)         | -65.7                | -43.7              | -43.8                  |
| 従業員数(含む臨時・パート) | -6.2                 | 0.0                | 6.2                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | -50.0                | -37.5              | -43.7                  |



### < 業況判断DIの推移 >

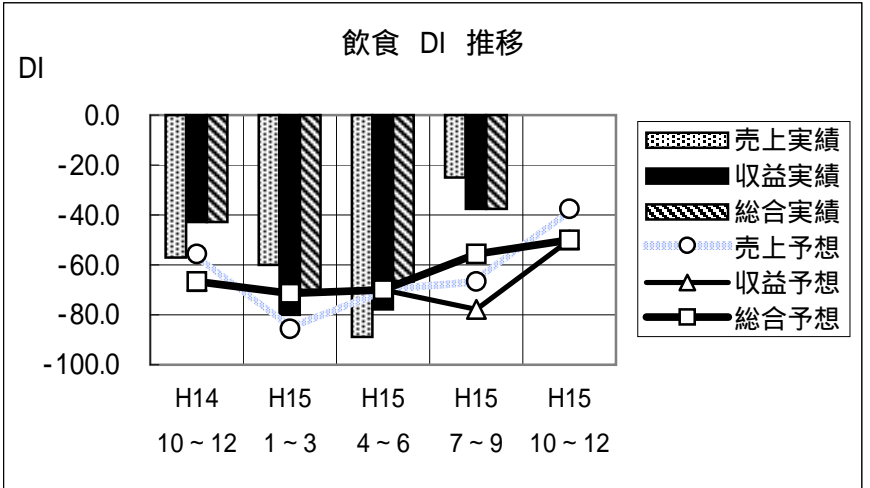
|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | -25.0      | -43.5    | -48.8 | -37.5 | -31.2     |
| 収益 | -40.0      | -51.3    | -43.9 | -43.7 | -43.8     |
| 総合 | -22.5      | -46.2    | -31.7 | -37.5 | -43.7     |

## [飲食]

長期休暇中は観光客も少なく、常連客が旅行などで出掛けているため客足が減少。前年比で2割程度の落ち込みがみられた。デフレによる利用客数の減少や客単価の低下に加え、現代の食生活の変化が、飲食業界の構造そのものに影響を及ぼしている事を感じざるをえない。

向こう3ヶ月の見通し

会社関係の利用が半減しているため、忘年会なども期待できないが、現在組合でまとまったサービスやキャンペーン等を企画検討中。地道に客足を取り戻したい。また、冷夏による農作物への影響は、今のところ報道されている程悪くない模様。食欲の秋を迎えるにあたり、市内外の交流人口の増加や、家族単位での利用に期待したい。(蒲郡市飲食業環境衛生組合連合会)



### < 業況判断DIの推移 >

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | -57.1      | -60.0    | -88.9 | -25.0 | -37.5     |
| 収益 | -42.8      | -80.0    | -77.8 | -37.5 | -50.0     |
| 総合 | -42.8      | -70.0    | -66.7 | -37.5 | -50.0     |

## (飲食)

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -62.5                | -25.0              | -37.5                  |
| 製品・商品在庫        | 0.0                  | 0.0                | -12.5                  |
| 資金繰り           | -50.0                | -25.0              | -37.5                  |
| 採算(収益)         | -62.5                | -37.5              | -50.0                  |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 0.0                  | 12.5               | 37.5                   |
| 貴社の業況(総合判断)    | -50.0                | -37.5              | -50.0                  |

## [その他小売(石油等)]

元売の値上げや、スポット市況の上昇に対し、店頭価格が上がらず、収益を圧迫している状況であり、さらに経営状況は悪化している。

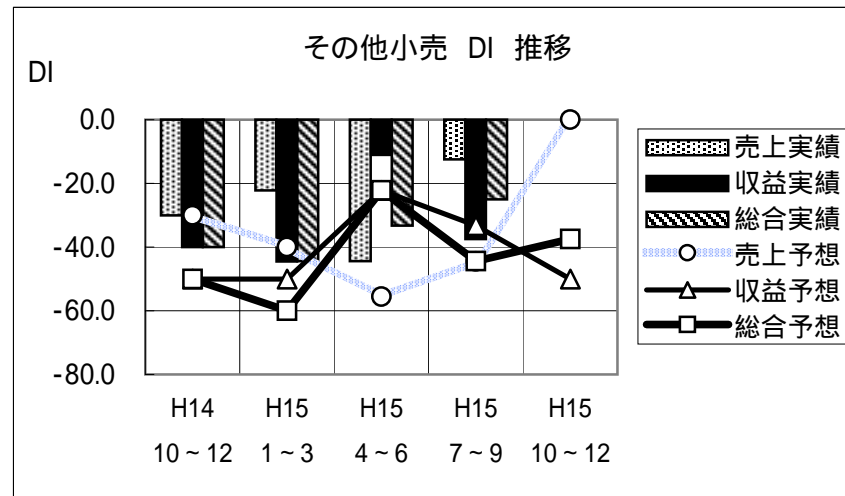
向こう3ヶ月の見通し

店頭価格が、適正マージンまで上がるのか、また灯油販売は、採算の取れる商売となるのかがポイントとなるが、依然として厳しい状況が続くと思われる。(エネルギー部会)

### (その他小売)

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7~9月) | 前期比<br>(平成15年4~6月) | 来期見通し<br>(平成15年10~12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -50.0                | -12.5              | 0.0                    |
| 製品・商品在庫        | -25.0                | -12.5              | -12.5                  |
| 資金繰り           | -25.0                | 0.0                | -25.0                  |
| 採算(収益)         | -75.0                | -37.5              | -50.0                  |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 12.5                 | 12.5               | 12.5                   |
| 貴社の業況(総合判断)    | -37.5                | -25.0              | -37.5                  |



#### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10~12月 | H15.1~3月 | 4~6月  | 7~9月  | 10~12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | -30.0      | -22.2    | -44.4 | -12.5 | 0.0       |
| 収益 | -40.0      | -44.5    | -11.1 | -37.5 | -50.0     |
| 総合 | -40.0      | -44.4    | -33.3 | -25.0 | -37.5     |

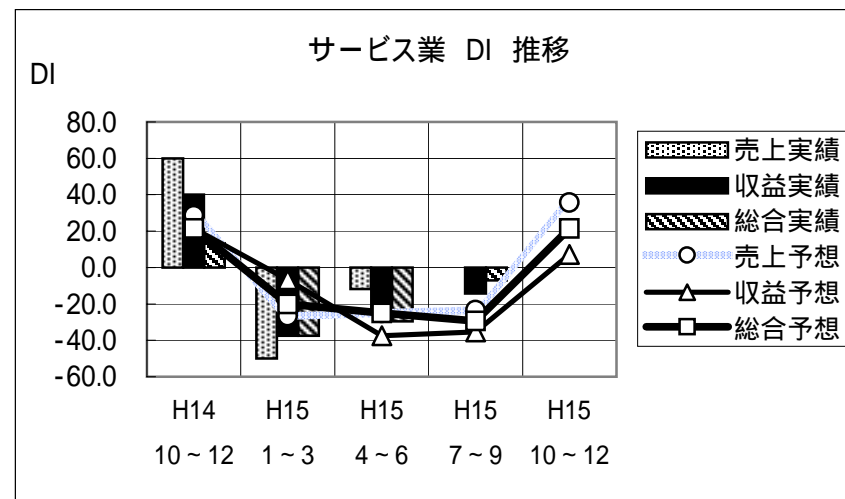
## サービス業

売上DI値は0.0、前期実績4~6月期(11.8)に比して11.8ポイントの上昇。収益DI値は14.3、前期実績4~6月期(23.6)に比して9.3ポイントの上昇、総合判断DI値は7.1、前期実績4~6月期(29.5)に比して22.4ポイントの上昇と、いずれも改善傾向であった。見通しとしては、いずれも水面上の改善傾向である。

### サービス業

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7~9月) | 前期比<br>(平成15年4~6月) | 来期見通し<br>(平成15年10~12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | 0.0                  | 0.0                | 35.7                   |
| 製品・商品在庫        | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 資金繰り           | -7.2                 | -7.2               | 14.3                   |
| 採算(収益)         | 0.0                  | -14.3              | 7.1                    |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 7.1                  | 7.1                | 7.1                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | 0.0                  | -7.1               | 21.5                   |



#### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10~12月 | H15.1~3月 | 4~6月  | 7~9月  | 10~12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | 60.0       | -50.0    | -11.8 | 0.0   | 35.7      |
| 収益 | 40.0       | -37.5    | -23.6 | -14.3 | 7.1       |
| 総合 | 13.4       | -37.5    | -29.5 | -7.1  | 21.5      |

## [旅館]

低音・多雨・日照不足と台風、これ程の天候不順の影響を受けた年はないのではないかと、またラグーナ蒲郡の入場者の減少影響もあり、7～8月の夏の期間は低調に推移した。9月も予約状況は、かなり厳しく、発生が直近とはいえ、売上が昨年を上回することは難しく、同業者間での価格競争等経営を圧迫することだけである。

### 向こう3ヶ月の見通し

昨年は、行楽シーズン・忘年会シーズンとして年間のトップシーズンになるのだが、今年は一部地方統一選挙、あるいは中央の政情不安等の出控え要因もあり懸念している。しかし経済面では若干の明るさもあり、当業界への遅効性を考えると今年暮れぐらいには期待できるのではないかと。

(観光部会)

## (旅館)

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -33.3                | -16.6              | 16.6                   |
| 製品・商品在庫        | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 資金繰り           | -16.7                | -16.7              | 16.7                   |
| 採算(収益)         | -16.7                | -16.7              | 0.0                    |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | 0.0                  | 0.0                | 33.3                   |

## 運輸通信業

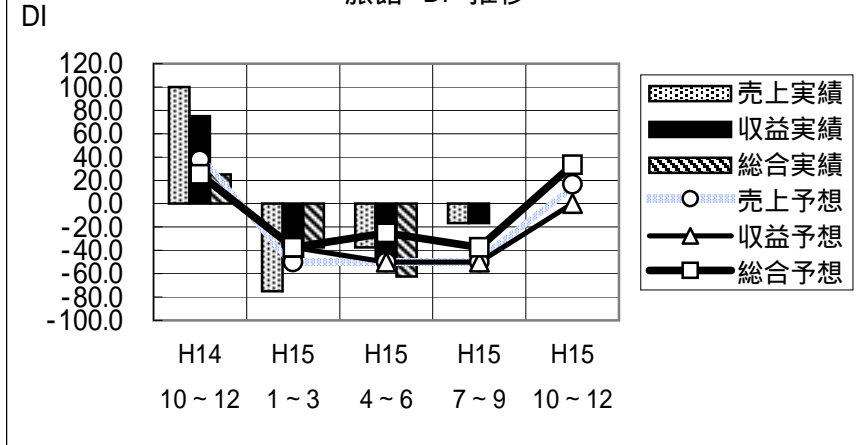
売上DI値は 36.3、前期実績4～6月期( 16.7)に比して19.6ポイントの下降。収益DI値は 18.2、前期実績4～6月期( 25.0)に比して6.8ポイントの上昇、総合判断DI値は0.0、前期実績4～6月期( 8.3)に比して8.3ポイントの上昇と、収益・総合とも改善傾向にある。見通しとしては、いずれも改善傾向にある。

## 運輸通信業

(DI 単位:%)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7～9月) | 前期比<br>(平成15年4～6月) | 来期見通し<br>(平成15年10～12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | -45.4                | -36.3              | 27.2                   |
| 製品・商品在庫        | -18.2                | -18.2              | -18.2                  |
| 資金繰り           | 0.0                  | -9.1               | -9.1                   |
| 採算(収益)         | -36.3                | -18.2              | -9.1                   |
| 従業員数(含む臨時・パート) | 9.1                  | 9.1                | 0.0                    |
| 貴社の業況(総合判断)    | -27.3                | 0.0                | 0.0                    |

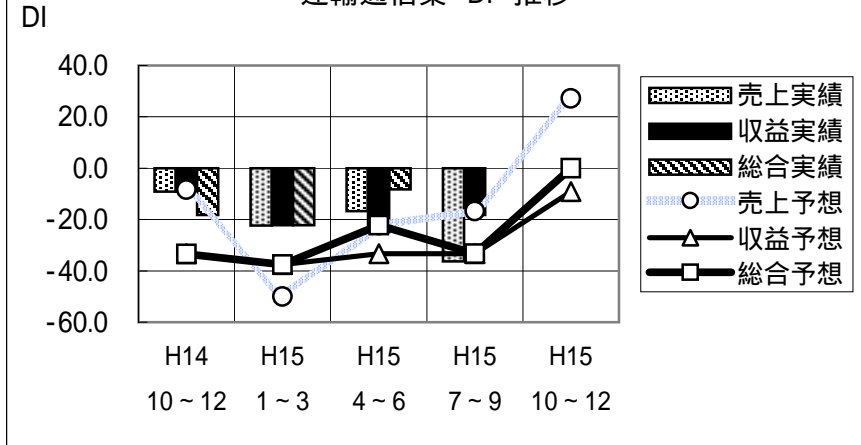
## 旅館 DI 推移



### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | 100.0      | -75.0    | -37.5 | -16.6 | 16.6      |
| 収益 | 75.0       | -50.0    | -50.0 | -16.7 | 0.0       |
| 総合 | 25.0       | -37.5    | -62.5 | 0.0   | 33.3      |

## 運輸通信業 DI 推移



### <業況判断DIの推移>

|    | H14.10～12月 | H15.1～3月 | 4～6月  | 7～9月  | 10～12月見通し |
|----|------------|----------|-------|-------|-----------|
| 売上 | -9.1       | -22.3    | -16.7 | -36.3 | 27.2      |
| 収益 | -9.1       | -22.2    | -25.0 | -18.2 | -9.1      |
| 総合 | -18.2      | -22.2    | -8.3  | 0.0   | 0.0       |

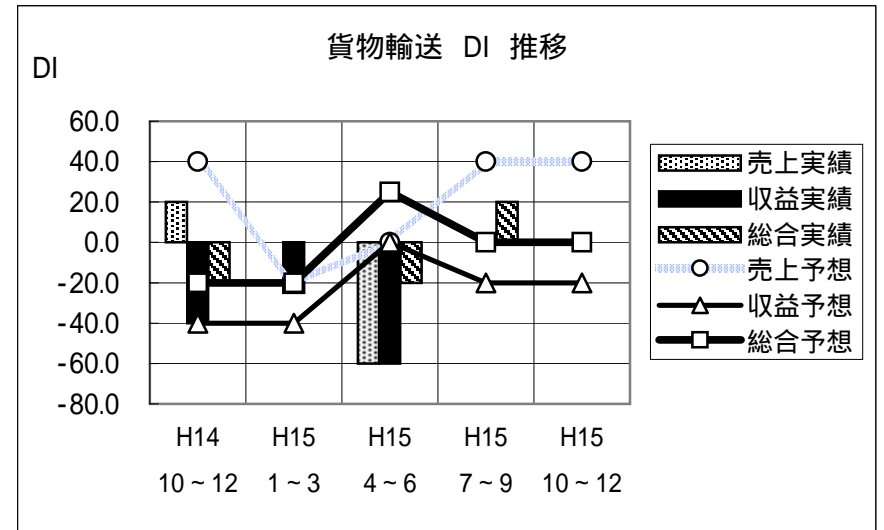
**[貨物輸送]**

海運関係: 蒲郡港の輸入量は微減(前年比95%)である。取扱品目の増加が望まれる。  
 今後の見通し、例年、秋口以降、増加傾向にあるが、今年は案件も無く非常に厳しい。  
 陸運関係: 貨物量については、相対的に低い水準で推移している。宅配、小口貨物は中元商品、ネット商品等で、前期よりも増量で他の夏物商品は冷夏の影響で低迷した。9月1日より大型車へのスピードリミッターの取り付け義務、燃料単価のローリ-買い1リットル当り前年同期3円値上げ等、業界にとって厳しい状況が続く。愛知県内の営業用普通車両が、業界紙の資料によると、前年対比98.4%(車両数1,045)と減少が続いている状況である。  
 今後の見通し、10月1日より、nox(窒素酸化物)、pm法(粒子状物質)も特定地域内で完全実施、スピードリミッターの随時取り付け等、我々業界にとって苦しい状況が続くと思われる。  
 バス業界関係: 前半は落ち込んでいたが、後半は持ち直してきた。乗合バスはあじさい祭り・ラグーナの夏休み需要とも前年を上回る状況であった。  
 今後の見通し、秋の行楽シーズンに向けて需要増により稼働が多くなると思われる。  
 (運輸交通港湾部会)

**(貨物輸送)**

(DI 単位: %)

|                | 前年同期比<br>(平成14年7~9月) | 前期比<br>(平成15年4~6月) | 来期見通し<br>(平成15年10~12月) |
|----------------|----------------------|--------------------|------------------------|
| 生産額・売上額        | 0.0                  | 0.0                | 40.0                   |
| 製品・商品在庫        | -40.0                | -40.0              | -40.0                  |
| 資金繰り           | 0.0                  | 0.0                | 0.0                    |
| 採算(収益)         | 0.0                  | 0.0                | -20.0                  |
| 従業員数(含む臨時・パート) | -20.0                | 0.0                | -20.0                  |
| 貴社の業況(総合判断)    | 40.0                 | 20.0               | 0.0                    |

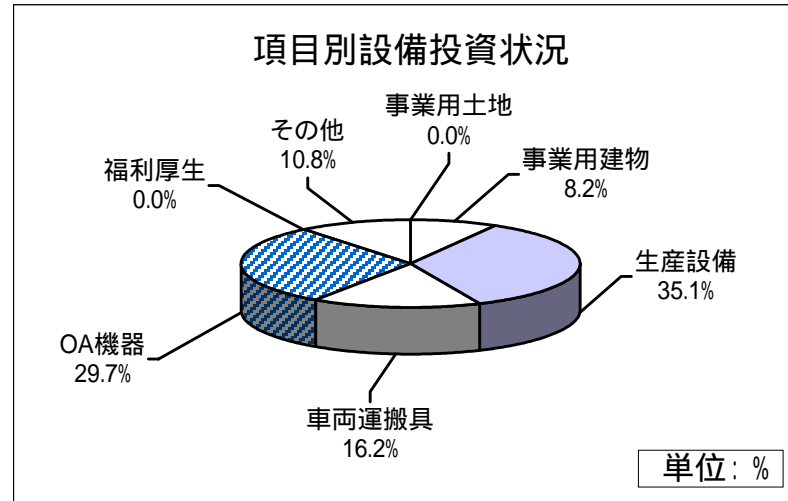
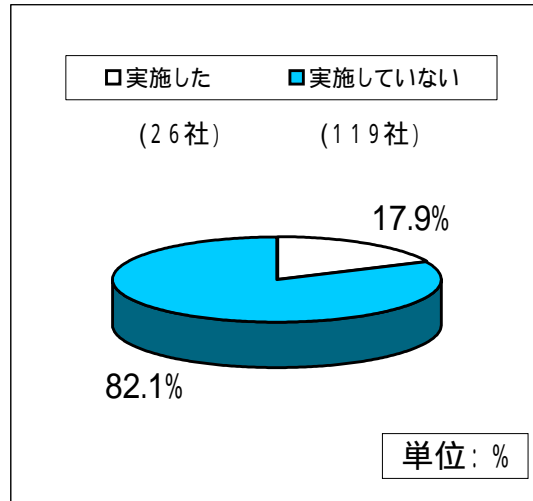


< 業況判断DIの推移 >

|    | H14.10~12月 | H15.1~3月 | 4~6月  | 7~9月 | 10~12月見通し |
|----|------------|----------|-------|------|-----------|
| 売上 | 20.0       | 0.0      | -60.0 | 0.0  | 40.0      |
| 収益 | -40.0      | -25.0    | -60.0 | 0.0  | -20.0     |
| 総合 | -20.0      | 0.0      | -20.0 | 20.0 | 0.0       |

## 7. 設備投資動向

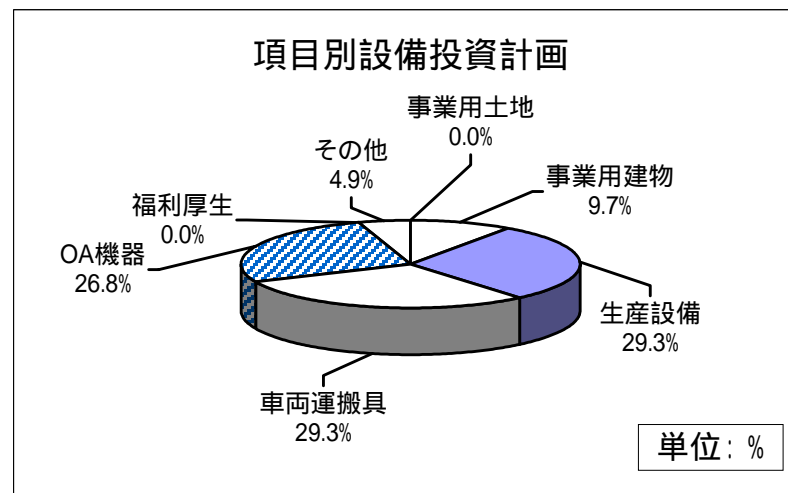
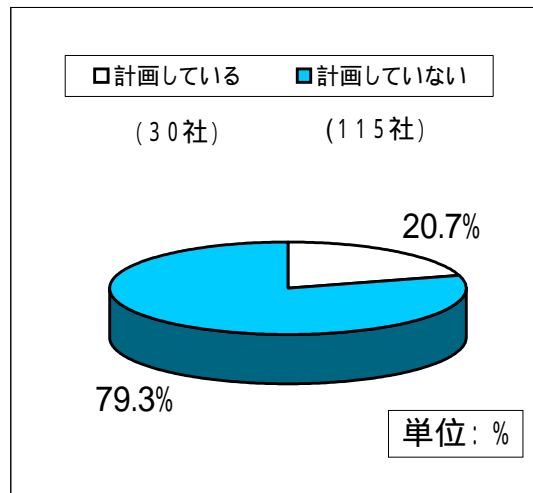
< 今期(H15.7~9月)設備投資実施状況 全業種 >



・7~9月期に設備投資を実施した企業は、26社(17.9%)あり、項目別には37件ある。そのうち生産設備(35.1%)、OA機器(29.7%)、車両運搬具(16.2%)に投資された。

・10~12月期に設備投資計画のある企業は、30社(20.7%)あり、項目別には41件ある。そのうち、生産設備(29.3%)、車両運搬具(29.3%)、OA機器(26.8%)の投資計画である。

< 来期(H15.10~12月)設備計画 全業種 >



設備投資・計画内容(全業種)

|       | 今 期 | 来期見通し |
|-------|-----|-------|
| 事業用土地 | 0   | 0     |
| 事業用建物 | 3   | 4     |
| 生産設備  | 13  | 12    |
| 車両運搬具 | 6   | 12    |
| OA機器  | 11  | 11    |
| 福利厚生  | 0   | 0     |
| その他   | 4   | 2     |
| 計     | 37  | 41    |

(単位:件)

今期(H15.7~9月)、来期(H15.10~12月)設備投資実施、計画動向

|                   | 全業種 | (単位:事業所) |     |     |     |       |       |
|-------------------|-----|----------|-----|-----|-----|-------|-------|
|                   |     | 製造業      | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サ-ビス業 | 運輸通信業 |
| 1. 今期(H15.7~9月)   | 26  | 14       | 0   | 6   | 4   | 1     | 1     |
| 2. 来期(H15.10~12月) | 30  | 13       | 0   | 6   | 4   | 2     | 5     |



## 8. 経営上の問題点

### 項目別経営上の問題点(全業種)

(上位5項目 回答企業数 145 社)

|   | 項目            | 件数<br>%      |
|---|---------------|--------------|
| 1 | 売上の停滞・減少      | 100<br>69.0% |
| 2 | 利幅の縮小         | 81<br>55.9%  |
| 3 | 競争激化          | 66<br>45.5%  |
| 4 | 販売納入先からの値下げ要請 | 30<br>20.7%  |
| 5 | 消費者ニーズの変化の対応  | 26<br>17.9%  |

(複数回答の為、総数と一致しません。)

・項目別経営上の問題点は、前回と比べ順位は同じである。

・業種別経営上の問題点は、建設業・卸売業以外は全業種1位に“売上の停滞・減少”をあげている。

### 業種別経営上の問題点

(上位3項目)

|       | 1 位              | 2 位                    | 3 位                         |
|-------|------------------|------------------------|-----------------------------|
| 製造業   | 売上の停滞・減少<br>55 社 | 利幅の縮小<br>33 社 60.0%    | 販売納入先からの値下げ要請<br>20 社 36.4% |
| 建設業   | 利幅の縮小<br>13 社    | 競争激化<br>9 社 69.2%      | 売上の停滞・減少<br>8 社 61.5%       |
| 卸売業   | 競争激化<br>20 社     | 売上の停滞・減少<br>11 社 55.0% | 利幅の縮小<br>10 社 50.0%         |
| 小売業   | 売上の停滞・減少<br>32 社 | 利幅の縮小<br>17 社 53.1%    | 競争激化<br>13 社 40.6%          |
| サービス業 | 売上の停滞・減少<br>14 社 | 競争激化<br>9 社 64.3%      | 利幅の縮小<br>5 社 35.7%          |
| 運輸通信業 | 売上の停滞・減少<br>11 社 | 競争激化<br>4 社 36.4%      | 利幅の縮小<br>4 社 36.4%          |

(複数回答の為、総数と一致しません。)

## 付帯調査(地域デ - タ)

| 番号 | 調査項目        | 単位 | H15.10報告 | 基準日      | H15.7報告 | 基準日      | H15.4報告 | 基準日        | 参照資料              |
|----|-------------|----|----------|----------|---------|----------|---------|------------|-------------------|
| 1  | 人口          | 人  | 82,004   | H15.10.1 | 81,938  | H15.7.1  | 81,920  | H15.4.1    | 市民課住民基本台帳         |
| 2  | 世帯数         | 世帯 | 27,050   | H15.10.1 | 27,006  | H15.7.1  | 26,904  | H15.4.1    | "                 |
| 3  | 15才～65才生産人口 | 人  | 54,731   | H15.10.1 | 54,825  | H15.7.1  | 54,815  | H15.4.1    | 市民課               |
| 4  | 外国人登録者数     | 人  | 1,246    | H15.10.1 | 1,225   | H15.7.1  | 1,137   | H14.3.31   | "                 |
| 5  | 建築確認届出件数    | 件  | 133      | H15.7～9月 | 138     | H15.4～6月 | 98      | H15.1～3月   | 建築住宅課受付件数(別紙参照)   |
| 6  | 全国完全失業率     | %  | 5.1      | H15.8月   | 5.4     | H15.5月   | 5.2     | H15.2月     | 総務省(別紙参照)         |
|    | 愛知県完全失業率    | %  | 3.8      | H15.4～6月 | 3.8     | H15.1～3月 | 4.1     | H14.10～12月 | 総務省(愛知県産業労働総務課より) |
| 7  | 全国有効求人倍率    | 倍  | 0.63     | H15.8月   | 0.61    | H15.5月   | 0.61    | H15.2月     | 総務省(別紙参照)         |
|    | 蒲郡管内有効求人倍率  | 倍  | 0.58     | H15.8月   | 0.47    | H15.5月   | 0.62    | H15.2月     | 蒲郡公共職業安定所(業務月報より) |

# 全国データ

|         | 労働             |                 |                  | 設備投資・住宅投資          |                | GDP・景気動向指数      |                   | 消費                  |                          |       |
|---------|----------------|-----------------|------------------|--------------------|----------------|-----------------|-------------------|---------------------|--------------------------|-------|
|         | 完全失業者数<br>(万人) | 完全失業率<br>(季調・%) | 有効求人倍率<br>(季調・倍) | 機械受注<br>(船舶電力除)前年比 | 新設住宅着工<br>(戸数) | 名目国内総生産<br>(兆円) | 実質成長率<br>前期比(%)年率 | 消費支出<br>(全国勤労者)前年比% | 新車新規登録届出数<br>(乗用車 季調・万台) |       |
| 1996年度  | 225            | 3.3             | 0.72             | 11.4               | 1,630,378      | 515             | 3.4               | 1.0                 | 485.1                    |       |
| 1997年度  | 236            | 3.5             | 0.69             | 3.9                | 1,341,347      | 520             | 0.2               | 0.2                 | 419.0                    |       |
| 1998年度  | 平均             | 294             | 4.3              | 0.5                | 18.6           | 1,179,536       | 514               | 0.8                 | 0.8                      | 414.3 |
| 1999年度  |                | 320             | 4.7              | 0.49               | 0.6            | 1,226,207       | 510               | 1.9                 | 1.8                      | 418.5 |
| 2000年度  |                | 320             | 4.7              | 0.62               | 16.6           | 1,213,157       | 515               | 3.2                 | 1.2                      | 425.8 |
| 2001年1月 |                | 317             | 4.9              | 0.65               | 0.8            | 81,348          |                   |                     | 0.5                      | 26.7  |
| 2月      | 318            | 4.7             | 0.64             | 5.9                | 83,440         |                 |                   | 0.0                 | 38.8                     |       |
| 3月      | 343            | 4.7             | 0.61             | 5.7                | 94,829         | 518             | 2.1               | 1.0                 | 60.0                     |       |
| 4月      | 348            | 4.8             | 0.62             | 10.5               | 99,556         |                 |                   | 5.2                 | 29.5                     |       |
| 5月      | 348            | 4.9             | 0.61             | 4.3                | 100,250        |                 |                   | 2.9                 | 30.0                     |       |
| 6月      | 338            | 4.9             | 0.61             | 9.5                | 101,168        | 509             | 5.7               | 4.5                 | 38.7                     |       |
| 7月      | 330            | 5.0             | 0.60             | 5.1                | 103,135        |                 |                   | 2.7                 | 40.5                     |       |
| 8月      | 336            | 5.0             | 0.59             | 13.4               | 104,705        |                 |                   | 2.0                 | 26.9                     |       |
| 9月      | 357            | 5.3             | 0.57             | 11.8               | 102,507        | 502             | 4.3               | 4.7                 | 37.7                     |       |
| 10月     | 352            | 5.3             | 0.54             | 26.6               | 101,746        |                 |                   | 0.5                 | 32.1                     |       |
| 11月     | 350            | 5.4             | 0.52             | 13.6               | 105,743        |                 |                   | 0.4                 | 34.5                     |       |
| 12月     | 337            | 5.5             | 0.51             | 14.4               | 95,431         | 499             | 1.7               | 8.1                 | 33.6                     |       |
| 2002年1月 | 344            | 5.3             | 0.51             | 22.2               | 84,196         |                 |                   | 0.9                 | 28.1                     |       |
| 2月      | 356            | 5.3             | 0.50             | 16.1               | 85,775         |                 |                   | 5.6                 | 39.4                     |       |
| 3月      | 379            | 5.2             | 0.51             | 22.0               | 88,865         | 500             | 0.7               | 2.5                 | 58.5                     |       |
| 4月      | 375            | 5.2             | 0.52             | 17.9               | 98,924         |                 |                   | 0.6                 | 31.1                     |       |
| 5月      | 375            | 5.4             | 0.53             | 16.6               | 106,110        |                 |                   | 2.7                 | 32.6                     |       |
| 6月      | 368            | 5.4             | 0.53             | 7.6                | 101,502        | *499            | *3.8              | 2.0                 | 38.5                     |       |
| 7月      | 352            | 5.4             | 0.54             | 5.8                | 96,245         |                 |                   | 0.5                 | 40.3                     |       |
| 8月      | 361            | 5.4             | 0.54             | 20.3               | 97,653         |                 |                   | 0.9                 | 28.3                     |       |
| 9月      | 365            | 5.4             | 0.55             | 2.7                | 97,238         | *500            | *3.3              | 4.5                 | 42.9                     |       |
| 10月     | 362            | 5.5             | 0.56             | 1.9                | 103,567        |                 |                   | 1.0                 | 34.3                     |       |
| 11月     | 338            | 5.3             | 0.57             | 7.2                | 98,664         |                 |                   | 2.3                 | 36.5                     |       |
| 12月     | 331            | 5.3             | 0.59             | 0.3                | 92,184         | *498            | *2.3              | 1.1                 | 33.7                     |       |
| 1月      | 357            | 5.5             | 0.60             | 18.8               | 82,770         |                 |                   | 2.0                 | 29.4                     |       |
| 2月      | 349            | 5.2             | 0.61             | 1.4                | 83,399         |                 |                   | 1.3                 | 41.4                     |       |
| 3月      | 384            | 5.4             | 0.60             | 11.7               | 87,297         | *498            | *2.4              | 2.6                 | 64.4                     |       |
| 4月      | 385            | 5.4             | 0.60             | 4.3                | 100,276        |                 |                   | 1.2                 | 29.0                     |       |
| 5月      | 375            | 5.4             | 0.61             | 12.2               | 97,970         |                 |                   | 1.1                 | 32.3                     |       |
| 6月      | 361            | 5.3             | 0.61             | 12.1               | 115,081        | *500            | *3.9              | 1.1                 | 37.2                     |       |
| 7月      | 342            | 5.3             | 0.62             | 6.1                | 98,718         |                 |                   | 4.2                 | 40.0                     |       |
| 8月      | 333            | 5.1             | 0.63             | 12.2               | 92,406         |                 |                   | 0.6                 | 26.7                     |       |
| 9月      | -              | -               | -                | -                  | -              | -               | -                 | -                   | *42.4                    |       |

(総務省)

(内閣府)

(国土交通省)

\*は速報値(内閣府)

(総務省)(日本自動車販売協会連合会)